

|   |   |                                  |
|---|---|----------------------------------|
|  | <b>学校だより No.3</b><br>青森市立佃小学校<br>令和3年5月25日発行<br>◆教育目標◆<br>あかるく・かしこく・たくましく | 全校児童数 466名<br>男子 223名<br>女子 243名 |
|---|---|----------------------------------|

## 小さな社会の中での、机に向かわない勉強

山田 彰利

毎朝、玄関や階段で、高学年の子が並んで「おはようございます」と挨拶をくれます。休み時間にはきまりを守って遊んでいるか見回ってくれる子もいます。何と素晴らしい佃小の高学年。実は、これらは5、6年生の委員会活動です。本校では、計画・スポーツ・給食・環境・保健・生活・集会・図書・放送と、九つの委員会が組織され、月に2回程度、木曜日6校時に行っています。しかしメインになっているのは日常の活動で、朝や昼の放送、図書の貸し出し、水飲み場の見回り、給食の食器等の片付け、児童集会の運営など、よりよい学校生活のため日々がんばっています。

委員会の活動は二つの側面から成り立っています。一つは当番の側面。やらなければ学校生活が成り立ちません。もう一つは自主的・創造的活動としての側面。子供達の創意工夫を生かした活動です。たとえば環境委員会では、校内美化のために飾りやポスターを作ってくれています。また、放送委員会の昼の放送では、毎日内容を変えて楽しい番組を編成しています。他にも紹介したい活動はたくさんあります…。

さて、こうした活動は子どもの様々な力を育てます。当番的な側面からは、自分の役割を意識して、その責任を果たそうとする態度や意識が育ちます。さらに実際の活動を通して協力・分業を体験することができます。いずれも、将来、健全な家庭生活や社会生活を送る上で大切な力で、学校という小さな社会の中でこそ身に付けていくことができます。また、自主的・創造的な側面からは、創意工夫する力、アイデアを実践に移す力が育ちます。子供たちが創り出していくこれからの社会に最も必要とされる力の一つです。

先日、4月にできなかった「一年生を迎える会」を、校内TVネットワークを活用することで全校児童が一堂に会することなく行うことができました。ここでもいくつかの委員会が責任感をもって活躍してくれましたし、6年生は一年生へのクイズを出す中で、改めて学校の中でのリーダーとしての立場・責任を感じ取ったのではないのでしょうか。



低・中学年には、委員会活動ではなく学級の「係活動」や「当番活動」がありますね。活動基盤となるのは学級。小さいですが、立派な社会です。「係活動」や「当番活動」を通して、日々、役割意識や責任感、協力・分業する力、創意工夫する力などを磨いているのです。

コロナ禍の中、全校での集会活動や合同での体育が制限され、感染防止の観点から、運動会も延期せざるを得ませんでした。そんな中でも、できる範囲で、子供たちの社会で生きる力を伸ばしていく場（「キャリア教育」という言葉を使うこともあります。）を工夫していきたいと考えています。机に向かう学習と机に向かわない学習、いずれも大切にしたいものです。ご理解とご協力をよろしくお願いします。